



道徳だより

2025.11.12 号
みよし市立緑丘小学校



1年生「がんばるころ」(内容項目A 希望と勇気、努力と強い意志)

ねらい

自分のやるべき仕事をしっかりと行った時の充実感を感じ取り、自分がしなければならない勉強や仕事はしっかりと行おうとする態度を育てることをねらいとして授業を組み立てました。

授業の様子

めあてを「最後までがんばるとどんな気持ちになるかな」として子どもたちに提示しました。やるべきことを最後までがんばる経験が少しずつ増えてきた1年生。自分の仕事や勉強をがんばって最後までやり遂げるとどんな気持ちになるのかを考えることを通して、達成感や充実感を味わえることに付き、今後の意欲を高めてほしい考えて取り組みました。



教材の概要

「ああ、いい気持ち。あきらのおかげで毎日きれいなお風呂に入れて幸せだなあ」おじいちゃんは、にこにこしながらお風呂から出てきました。主人公のあきは、うれしくてたまりません。そばにいた、お父さん、お母さん、お姉ちゃんも「あきらのお風呂場掃除は、大したものだ」と言いました。あきはうれしくなって「ぼく、寒くなってもやるよ」と言いました。「寒いと冷たくて大変よ」とお姉ちゃんはちょっと心配そうです。「ぼく、やるもん」とあきは大きな声で言いました。「そうね。始めはうまくできなくても、あきらならできるよ」とお母さんが頭をなでながら言ってくれました。「うん、お風呂場掃除も勉強も、僕の大事な仕事なんだからみんなやっちゃうよ」あきはびよびよんはねながら、歌うように言いました。

まず教材を動画で確認し、主人公「あきら」についての思いを考え合いました。始めに「お風呂場掃除のことを家族に褒められたときどんな気持ち?」と尋ねました。「**もっとほめられたい**」「**もっとやりたい**」という意見が出されました。次にお姉ちゃんに心配されたけれど、「ぼくやるもん」と力強く語ったあきらの思いについて発問しました。ここでは、ノートに書く時間を取り、考えを整理してから発表しました。「**家族が幸せそうに入ってくれるから**」「**ほめられたいから**」「**もっと喜んでもらいたい**」「**きれいになるといい気持ち**」などの意見が出されました。「ほめられたいから」という意見に対して「ほめられなかったらやらないか」と尋ねると「**やらない**」という低学年らしい意見もありました。さらに「いい気持ち」という意見に対して「誰がいい気持ちになるの」と尋ねると「**自分**」「**みんながいい気持ち**」と答えていました。最後に「最後までがんばるとどんな気持ちになるか」と発問すると「**ずっとずっとやりたい**」「**うれしい**」「**自分もいい気持ち**」などの意見が出されました。子どもの言葉の中には、「達成感」、「満足感」につながる言葉が多く出されていました。今後、家庭でも子どもたちがいろいろな場面でがんばると思います。そんなときに、その取り組む姿勢に対して認める声掛けをしていただけると、次への意欲につながり、今回の道徳の授業も生きてくると感じています。

